

令和7年度 第2回三条市こども未来委員会会議録	
日 時	令和7年12月24日(水) 午後1時30分～3時
場 所	三条市役所栄庁舎3階 大会議室
出席者	<p>出席委員：真壁委員長、佐藤副委員長、栗山委員、伊藤委員、今井委員、近藤委員、宮島委員、規矩智委員、石塚委員、金子委員、高橋委員</p> <p>欠席委員：山村委員、与斉委員、小田委員、柳委員</p> <p>事務局：平岡教育部長、小林子育て支援課長、川俣課長補佐、相場子ども家庭サポートセンター長、飯田総合支援係長、石坂発達支援室主査、知野幼児・児童係長、五十嵐子育て支援係長、小林主任</p> <p>傍聴者：なし</p> <p>報道機関：株式会社三條新聞社</p>
委 員 会 内 容	
	<p>【次第】</p> <p>1 開 会 午後1時30分開会</p> <p>2 挨拶 平岡教育部長が挨拶</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) 第3期すまいる子ども・若者プランの変更について</p> <p>(小林課長)</p> <p>資料1に基づき説明</p> <p>【質疑】</p> <p>佐藤副委員長 三条市の保育施設はいくつあるのか。</p> <p>小林課長 第3期すまいる子ども・若者プランの67ページに記載しているので確認してほしい。(合計36施設)</p> <p>佐藤副委員長 「認定こども園」はいくつあるか。</p> <p>小林課長 現在は9園で、来年度「認定こども園」に移行するのは5園の予定である。</p> <p>石塚委員 なぜ、「認定こども園」に移行するのか。</p> <p>小林課長 「保育所」は入所の要件として、児童福祉法で「保育を必要とする事由がある児童」という規定があり、具体的には、就労等で家庭での保育ができないお子さんを預かる施設である。</p> <p> 「認定こども園」は「保育所」と「幼稚園」の両方の機能を持っており、就労の有無に関わらずお子さんを預かることが可能な施設である。保護者の様々なニーズに対応できることから、近年「認定こども園」に移行する</p>

	施設が増えている。
今井委員	児童発達支援センターについて、具体的にどのような支援が追加されるのか。
小林課長	現在は、直営で「子ども発達ルーム」という児童発達支援事業所（障がい児福祉サービス）を運営している。これに加えて、地域の障がい児支援の中核的な役割として、地域の支援機関（児童発達支援、放課後等デイサービス等）への助言や家族支援、また、小・中学校現場での作業療法士等の専門職による支援を実施予定である。
今井委員	教育現場に合わせて必要な人材を派遣するということか。
小林課長	支援が必要なお子さんを作業療法士等の専門職が学校現場で確認し、教職員とともに支援していくためのコーディネーター的な役割を想定している。
平岡部長	<p>児童発達支援センターとは、全国概ね人口 10 万人規模の自治体で 1 箇所設置することを国が推進している事業である。三条市ではここ数年間で放課後等デイサービスや児童発達支援の福祉サービスを提供する事業所が増えてきたが、指導を行う機関が無かった。このため、三条市においても児童発達支援センターを設置し、事業所への指導及び意見調整の支援を実施していく。児童発達支援センターの機能はこれで完結するが、三条市では更に、学校での支援を要する児童が増えつつあることにも着眼し、作業療法士が学校を巡回する支援を追加し、お子さんに寄り添った対応を見極め、先生達とともに学校生活のより良い環境づくりを進めていくことを検討している。</p> <p>(2) 子育て環境を取り巻く課題への対応について（令和 8 年度取組の検討における問題意識）</p> <p>(小林課長) 資料 2 に基づき説明</p> <p>【施策区分 I 子どもの健やかな成育への支援について 質疑】</p>
高橋委員	小学生が屋内で遊べる場所として、Wi-Fi が必要である。自分が経営している三条ベースでは、Wi-Fi 以外に、卓球台なども設置している。今の子ども達は、ゲーム機を持ち寄り遊んでいる。ゲーム機に飽きると卓球をしたりボール遊びをしたりしている。子ども達は、秘密基地のような狭くて息苦しいくらいのたまり場が好き。屋内でも遊べるように公共施設を提供していると思うが、綺麗でオープンな空間に子どもは集まりづらい。漫画本や卓球台などゲーム以外に遊ぶツールが必要だと思う。また、遊び方を教える人も必要である。場所だけの提供だけではなく、コンテンツを考

	<p>えて、子ども達が遊べる場と認識する場所を作ってほしい。 また、地域の自治会館（集会所）を開放する等、地域の大人達も含めて検討して行ってほしい。</p>
小林課長	<p>子どもの居場所を立ち上げるに当たり、どのような行政支援があるとよいか。</p>
高橋委員	<p>例えば、駄菓子屋があれば子ども達は集まり、居場所となる。駄菓子屋は5万円あればできる。また、Wi-Fiの設置は必須となるため、その部分を行政が支援してくれるとよいと思う。</p>
石塚委員	<p>私が子どもの頃は近所のお寺で遊んでいた。お寺を開放してもらうのもよいと思う。三条の文化に触れる機会があったらよいと思う。</p>
高橋委員	<p>資料の子どもの遊び場に三条ベースを追加してほしい。民間企業が掲載されることで、今後、民間企業の協力も得られやすくなると思う。</p>
真壁委員長	<p>子どもの居場所を立ち上げたら、行政として施設を写真付きなどで広報できるとよい。</p>
	<p>【施策区分Ⅱ 子育て当事者への支援について 質疑】</p>
真壁委員長	<p>市としてはどういう意見を聞きたいのか。</p>
小林課長	<p>行政として意思決定できるのは公立保育所だけである。民間には経営という視点が必要となる。地域によっても子どもの数は違うが私立保育園等にも問題意識を持ってほしいため、私立に対してはどういった視点で考えていった方がよいのか、それぞれの立場で御意見をお願いしたい。</p>
栗山委員	<p>当法人は、認定こども園2園を経営している。おむつのサブスク等保護者の様々なニーズに応えられるようサービスを実施するほかに、特性を持った子どもが多くなっているのも事実であるため、当園では、国が定めている人数以上の職員を配置している状況である。一方、子どもの人数は減っており、「保育所等の在り方」については永遠の課題となるため、幅広い方の意見を聞きたい。</p> <p>また、子どもの居場所の話に戻るが、早朝や延長保育の時間について、子ども達は狭い場所が好きなので、広い部屋をいくつか区切ってスペースを作るなど工夫をしている。遊び方も子ども達同士で教え合って遊ぶよう工夫している。園を卒業した後も縦の連携で子ども達の成長を育んでいけたらと思うので意見を教えてほしい。</p>
高橋委員	<p>子どもを預ける前の話として、子どもの愛着障害など問題になっているが、核家族化により親に育て方を教えてあげる人がいないことも要因となっている。保護者の拠り所として集まれる場所や伴走型としての保育の在り方を法人として考えられるとよいと思う。</p>

	<p>また、核家族化により世帯所得が厳しい家庭もある。不要な食料品、生活用品等を無料で配布できる場所があるとよいと思う。</p>
石塚委員	<p>地域ごとに保育園を確保することは大事だが、民間施設は淘汰された方がお互いより良いサービスを提供するなど切磋琢磨できてよいと思う。</p>
佐藤副委員長	<p>行政として保育園の経営コンサルもできるのではないか。ぜひ、行政が持っている資料を用いて改善方法等監査で指摘をしてもよいと思う。</p>
小林課長	<p>今後の子どもの人数の推移については、これから示していくことが必要だと思う。各園は昨年度から入所申込が少なくなっていることを実感している。経営的な視点も含めて考えていこうと思う。</p>
金子委員	<p>保護者は各園の特色で入園する保育園を選んでいる。情報交換しながら、各園の特色が被らないようにしたらどうかと思う。</p>
近藤委員	<p>保護者は、学区に関係なく複数の園に見学に行く。日々の様子など各園の情報を保護者が集まる子育て拠点施設や子育て支援センターに提供してもらえたらよいと思う。</p>
真壁委員長	<p>臨床心理学としては、園の特色として、朝からずっと遊んでいられるような（例えば、音楽活動などの特色ある活動を行わない）園というのも行政でやってもらえたらと思う。</p>
	<p>【施策区分Ⅲ 家庭、地域の意識の醸成について 質疑】</p>
宮島委員	<p>「子育てに優しくない」という認識を持たれていたため驚いている。どういう分析でこうなったのか。</p>
小林課長	<p>去年、子育て拠点施設や子育て支援センターでアンケートを実施した。一部の意見として「子育てに優しくない」「経済的支援を充実してほしい」という意見が出た。</p>
宮島委員	<p>資料の「サンキッズカード」の事業内容が分からない。詳細を教えてください。</p>
小林課長	<p>サンキッズカードは、18歳未満の子どもが3人以上いる家庭が協賛店の割引サービス等を受けることができる事業であり、平成19年から他市町村に先駆けて開始した。その後、子ども一人目からのサービスとして開始した市町村が多い。</p>
高橋委員	<p>行政からは、市民参画のイベントなどを積極的に企画、アピールしてほしい。穴ぼこを埋めることだけでなく、みんなから見える山を作るようなイメージで支援を考えてほしい。行政だけではなく民間との連携も含めたプラットフォーム作りをしてほしい。</p>

石塚委員	<p>以前市長が出席している座談会に参加したことがある。若い保護者から遊び場や経済支援について話があったにも関わらず、まだくすぶっている状況のため、一つのことでも実現した方がイメージアップになると思う。</p> <p>また、三条も他市町村から見て羨ましく思われるような、目に見えるものがあつたら、イメージアップになると思う。</p>
真壁委員長	<p>事務局からその他として何かあれば、お願いしたい。</p>
小林課長	<p>皆様からいただいた御意見を参考に、まずはサンキッズカード事業の見直しを行う。</p> <p>また、任期が来年3月で満了となるため、委員の皆様から御審議いただくことは今回が最後になる。2年間ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(午後3時閉会)</p>